メモ

1 大きな経済制度の改革～抗議のCGの充実

- ・ 選択の多様化、市場の選別
- ・ メインバンクと内部監視から外部監視 + 製品市場での競争
- ・ 95年から05年の10年の総括

組織法制の拡大～経営判断事項の拡充

- ・ 会社法制、独禁法制（MA規制の緩和）と税制の整備
- ・ 組織形態の多様化（持株会社、LLC、LLP）
- ・ 倒産法制、事業再生法制の整備

市場機能の強化

- ・ 規制緩和、公益事業分野の開放
- ・ カルテル規制強化、私的独占強化、制裁強化
- ・ ファンドなど金融多様化、脱担保法制

ガバナンス構造の多様化

93年 社外監査役制度の導入

- ・ 大会社 3名以上の監査役、うち最低1人は社外
- ・ 就任前5年間、取締役または使用人でなかったこと

01年 社外監査役制度の厳格化

- ・ 大会社 3人以上の監査役、半数以上が社外
- ・ 就任前に取締役または使用人となることがないこと

02年 委員会等設置会社、執行役、社外取締役制度の導入

05年 経済産業省・法務省の指針

2 買収防衛策 + CGというトレンド

(1) タイプ

- ・ 米国型～経営判断原則と統治構造改革
- ・ 大陸型～株式総会重視の方向
- ・ 英国型～TOBなどでの少数株主保護主義

(2) 企業価値基準でのルールメイク（交渉ルール）

ポスト指針

市場自主ルール(上場基準、議決行使GL)

買収ルール

開示ルール

3 企業モデル

閉鎖型組織の再評価

人的資産のガバナンス（株主監視、長期雇用の組み合わせ）

経営の専門性と株主主権の緊張関係